

水性床用透明防滑仕上げ材

水性ホゴコンエース

MS-F

(標準工法)

施工要領書

2023年3月制定

2023年9月改訂



Seven Chemical
株式会社 セブンケミカル

目次

1. 標準 施工工程(ソフト、ハード共通)	2
2. 適応下地	2
3. 施工条件	3
4. 施工上の注意	3
5. 使用材料一覧	5

1. 標準 施工工程(ソフト、ハード共通)

水性ホゴコンエース MS-F はカチオン系水性アクリル樹脂をベースにした透明防滑材です。

マンションエントランス等の特定数の歩行頻度の見込みのある箇所で 3～5 年の樹脂性能が見込まれます。

骨材の使用目安：ハード骨材は1㎡当たり 12.5g/ソフト骨材は 1㎡当たり 3.75gが目安です。

骨材の沈殿による骨材のムラを防ぐため、材料はよく混ぜながら使用してください。

工程間隔時間は23℃を想定しており施工環境により異なります。

(1) 一般屋内外

工 程		使用材料	混合比 (基材:硬化剤:骨材)	所要量 (kg/㎡)	工程間隔 (時間)	施工器具
1	下塗り 1～2回	水性ホゴコンエース MS-F シーラー	-	0.12～0.20	夏場 0.5 以上 冬場 2 以上	中毛ウールローラー 刷毛
2	上塗り (1)	水性ホゴコンエース MS-F (基剤+硬化剤+骨材)	ハード骨材 12 : 3 : 1	0.08～0.12	夏場 0.5 以上 冬場 2 以上	短毛ウールローラー 刷毛
3	上塗り (2)		ソフト骨材 12 : 3 : 0.3	0.08～0.12	24 以上	短毛ウールローラー 刷毛

(2) 一般屋内外で、かつ平滑な下地※1

工 程		使用材料	混合比 (基材:硬化剤:骨材)	所要量 (kg/㎡)	工程間隔 (時間)	施工器具
1	下塗り 1～2回	水性ホゴコンエース MS-F シーラー	-	0.12～0.20	夏場 0.5 以上 冬場 2 以上	中毛ウールローラー 刷毛
3	上塗り	水性ホゴコンエース MS-F (基剤+硬化剤+骨材)	ハード骨材 12 : 3 : 1 ソフト骨材 12 : 3 : 0.3	0.16～0.24	24 以上	中毛ウールローラー 刷毛

※1 下地に手のひらで触れ周辺を撫で、部分的な高さや深さを感じない程度

2. 適応下地

コンクリート、モルタル面、タイル面、御影石

※ 大理石への施工はできません

※ 水を弾く下地の場合は必ず事前に付着性をご確認ください

※ 深さのある目地モルタルでは塗膜が膨れるおそれがあります。

※ 風呂場やシャワー室など、床面下地側に水分が残り易い場所は施工を避けてください。

※ 駐車場や車両の通行経路のような重量物の通行経路は施工を避けてください。

3. 施工条件

- ① 外気温が5℃以下 35℃以上、湿度は80%Rh以上の環境での施工は避けてください。
(外気温だけではなく躯体温度も含まれます。)
- ② 施工時及び材料の乾燥硬化の過程で降雨が予想される場合は施工を避けてください。
- ③ 施工前後で結露・霧・雪・霜等が予想される場合は施工を避けてください。
- ④ 風速5m/sec以上の時は、塗材の飛散被害・塗付けムラやゴミの付着等の支障をきたしますので、十分風養生対策を行うか施工を避けてください。
- ⑤ 晩秋や冬季の施工では、特に、朝露残りや夜露の影響がありますので、下地の乾燥を確認してからの施工開始、及び、施工後の塗膜乾燥を促すため夕暮れまでの時間を空けて頂くようご注意ください。
- ⑥ 作業終了後、24時間は降雨の掛からぬようにしてください。
- ⑦ 材料は、風雨・直射日光を避け5℃以上の冷暗所で保管してください。
- ⑧ 下地に破損、欠損、反り、ひび割れがあり、補修が難しい場合にはあらかじめ下地の張替えなど適切な補修をしてください。

4. 施工上の注意

[本製品をお取扱いの前に]

- 必ず SDS、施工要領書を確認後、施工してください。
- 本塗装システムはシーラーを含め標準3工程仕上げとなります。
- 水性ホゴコンエース MS-F は艶有仕様、艶消仕様がございます。
- 複数日にまたがって施工をする場合には予め目地などで見切り養生を行い、塗装ムラがおきないように施工をしてください。
- 雨やその他、水分の溜まる水はけの悪い場所(凹)部への施工は避けてください。
- 上塗り材は2液型の塗料ですので、必ず計量器を使用し、規定量を混合し十分に攪拌してください。
- 本製品は透明仕上げの為、汚れたローラーやハンドルなどの道具は使用しないでください。
- 塗料・材料は直射日光や降雨を避け、必ず5℃以上の屋内冷暗所に保管してください。

[前処理]

- 下地にワックス・油分の有る箇所はワックスリムーバーやシンナーを用い十分に除去し、必要に応じ水洗いし、乾燥を十分に行ってください。
- カビや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り剤やアルコール液で殺菌してください。
- 施工前日までに下地洗浄やエフロレッセンスの除去などを行い残留物が残らないよう高圧水洗浄してください。(透明仕上げのため、塗装完了後に塗膜下の汚染物を取り除くことが出来ません。)
- 水洗後は下地を十分乾燥させてください。
- 水性ホゴコンエースは当日3回塗り仕上げです。施工面積の広い場合には、目地などで見切り、はみ出さぬようしっかり区切り、吸い込み止めも含め当日中に仕上げられる範囲を決めておいてください。

[施工当日]

- 気温 5℃以下、35℃以上、湿度 80%以上の時は施工を避けてください。
- 屋内外を含め作業用帽子、保護めがね、保護手袋、長袖作業着を着用して作業を行ってください。
- 溶剤ほどの臭気はありませんが、十分な換気をして施工を行ってください。狭い場所での施工の際には局部排気装置を設けて施工を行ってください。
- 施工当日に塗装面が汚れている場合、掃き出し、ブロワー、シンナーなどで清掃してから塗装面以外の養生を済ませ本施工には入ってください。
- 水性ホゴコンエース MS-F は 3 材型の塗料ですので、必ず計量器を使用して規定量を計ってください。
- 水性ホゴコンエース MS-F は透明樹脂と専用骨材の比重が異なります。施工時の容器内での沈降による骨材ムラを防ぐため、材料をローラーに含ませる際には十分に攪拌を行ってください。
- 攪拌機、ローラー等は施工箇所を考慮して適切なものをご使用ください。
- ローラー筋を残さないように塗付方向を一定にせず縦横十字に塗付けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹼を使って洗い流してください。目に入った場合は水道水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。また、SDS を参照してください。
- 所要量が指定値より少ない場合、防滑性能が得られない恐れがありますので塗り回数を増してください。
- 工程間隔時間は十分な検証を行った上で設定しておりますが、次工程へ移る際には軽歩行が可能な乾燥状況であることを確認してください。
- 適切な養生時間を空け 2 回目塗りを行ってください。

※当日 2 回塗りは 23℃での施工条件です。高温時は指触確認を行い乾燥していれば次工程へ進んで下さい。また、低温時では工程間隔内でも乾燥していない場合は次施工に進めないこともあります。

[施工後]

- 施工終了後、24 時間は降雨の掛からぬように養生してください。

5. 使用材料一覧

(1) 製品形態および容量

種類	製品名	容量	セット	混合比
下塗材	水性ホゴコンエース MS-F シーラー	15kg	-	-
		4kg		
上塗材	水性ホゴコンエース MS-F 艶有	ハード 骨材	16kg セット	12:3:1
			5.3kg セット	
		ソフト 骨材	15.3kg セット	12:3:0.3
			5.1kg セット	
	水性ホゴコンエース MS-F 艶消	ハード 骨材	16kg セット	12:3:1
			5.3kg セット	
		ソフト 骨材	15.3kg セット	12:3:0.3
			5.1kg セット	

(2) 荷姿

種類	製品名	容量	荷姿	備考
下塗材	水性ホゴコンエース MS-F シーラー	15 kg	石油缶	1 液型カチオン系 水性アクリル樹脂
		4 kg	ポリ角缶	
上塗材	水性ホゴコンエースMS-F 基剤 (艶有/艶消)	12kg	石油缶	2成分型水性ウレタン樹脂
		4 kg	ポリペール 缶	
	水性ホゴコンエースMS-F 硬化剤	3.0kg	ポリ角缶	
		1kg	ポリ瓶	
	ホゴコンエース MS-F ハード骨材(水性専用)	1kg	ポリ瓶	成分:石英
		0.3 kg	ポリ瓶	
ホゴコンエース MS-F ソフト骨材(水性専用)	0.3 kg	ポリ瓶	成分:アクリル樹脂ビーズ	
	0.1 kg	ポリ瓶		



株式会社 セブンケミカル
 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 12F
 TEL 03(6809)2597 FAX 03(6809)2598
<https://www.seven-chemical.co.jp>